

2026
7

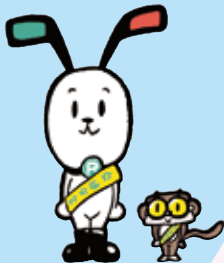
かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞) ~一般部門~ 歩行者等(自転車等利用者を含む)に呼びかける部門

キックボード マナーも乗せて 安全運転



「夏の交通事故防止運動」ポスター



**三輪車、横断歩行者
高齢者による交通死亡事故多発!**

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!



ホームページ



X公式アカウント

● 県内の交通事故発生概況(令和8年6月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和8年		10,404	68	11,947
令和7年		9,998	63	11,540
増減数		+406	+5	+407
増減率		+4.1%	+7.9%	+3.5%

● 県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,199,800	4,553,204	4,646,596
免許人口	5,673,187	3,204,377	2,468,810
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和8年6月1日、免許人口は令和8年5月末現在)

夏の交通事故防止運動の実施について

○ 期 間

令和8年7月11日(土)～7月20日(月)の10日間

○ 目 的

夏の行楽期を迎えるこの時期は、人流や交通量が増加することに加え、解放感による悪質危険な運転などの増加が懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。



○ スローガン

親を見て 子どもも止まる 赤信号

○ 運動重点

- 1 自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底
- 2 二輪車等の交通事故防止
- 3 高齢者や子どもを始めとする歩行者の安全確保
- 4 飲酒運転の根絶

二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間の実施結果

6月中「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」「暴走は しない させない ゆるさない!」をスローガンに、二輪車交通事故防止強化月間及び暴走族追放強化月間が行われました。



津久井交通安全協会では、昨年に引き続き二輪ライダーの集まる鳥居原ふれあいの館周辺において「プロテクターをつけよう!」を合言葉に、各種プロテクターを装着する重要性を訴えた二輪車交通安全キャンペーンを実施しました。

最近の県下二輪車死亡事故では、スピードの出し過ぎによると思われる単独事故、交差点における右直事故、道路の構造物や歩行者にぶつかる事故、駐車車両等に衝突する事故などが発生しています。前をよく見て、スピードは抑えめに、安全運転をお願いします。

◎ 県内の二輪車関連交通事故発生状況(概数)

	6 月 末		
	発生件数	死者数	負傷者数
令和8年	3,067	18	2,739
増減数	+294	-7	+285

☆ 県内の暴走族の実態(令和7年末)

暴走族		旧車會	
グループ数	22グループ	グループ数	35グループ
構成員(共同危険型)	767人	構成員	431人
構成員(違法競走型)	173人		
合計	940人		

☆ 地域における様々な取組を通じて暴走族追放の気運を高めましょう ☆

第17回評議員会・第50回理事会の開催について



評議員会における
小島専務理事挨拶



評議員会における
加藤交通部長挨拶

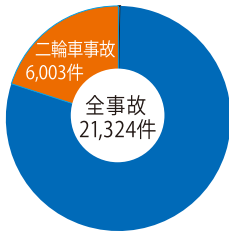
6月23日(火) 県協会会館において第17回評議員会及び第50回理事会が開催されました。

評議員会では評議員31名が出席された中で「令和7年度神奈川県交通安全協会事業報告(案)」「令和7年度神奈川県交通安全協会決算報告(案)」等について審議され、いずれも原案通り承認されました。

また、引き続き行われた理事会でも人事案件について承認されました。

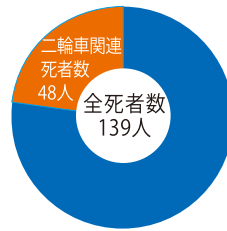
令和7年中の神奈川県内二輪車事故の特徴

◆ 二輪車関係事故発生状況



○全発生件数に占める二輪車事故の割合は**約28.2%と高い!**

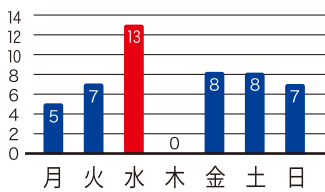
◆ 二輪車関係事故死者数の割合



○死者数は**約34.5%を占めます。**
※ 全国平均18.7%
神奈川県の死者数の割合は全国平均の**約2倍**です。

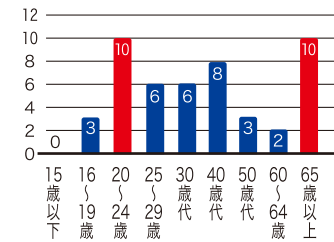
◆ 曜日別発生状況

○曜日別発生件数では水曜日の死者数が多かった。



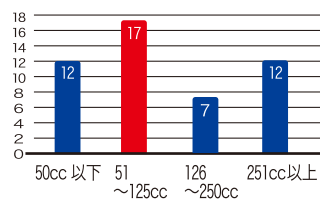
◆ 年齢層別死者数

○年齢別では20~24歳及び65歳以上が多かった。



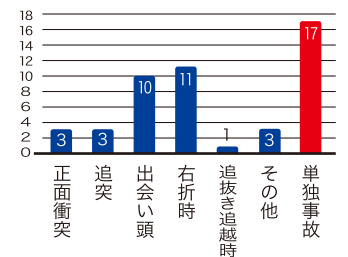
◆ 排気量別死者数

○排気量別に見ると51~125ccの死者数が多かった。



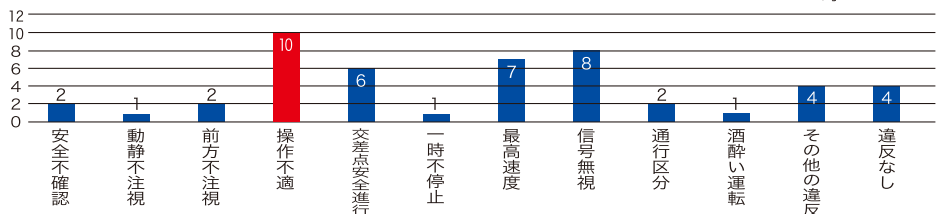
◆ 形態別死者数

○形態別死者数では単独の交通事故が多かった。



◆ 原因別死者数

○原因別死者数では死者の約9割に何らかの違反があり、特にハンドル・ブレーキ等の操作不適が多かった。



TSマーク貼付自転車安全整備制度推進優秀整備店の表彰

令和7年度中 サイクルオリンピック川崎鹿島田店、鶴見中央店、平塚湘南シティ店、オリンピック大倉山店

点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは4店舗が選ばれました。各店舗には県協会の青山事務局長が赴いて、(公財)日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長等に伝達しました。



サイクルオリンピック
川崎鹿島田店



サイクルオリンピック
鶴見中央店



サイクルオリンピック
平塚湘南シティ店



オリンピック
大倉山店

